

さあ、保険の新次元へ。

**T&D** 保険グループ

2022年8月10日

各 位

株式会社T & Dホールディングス  
代表取締役社長 上原 弘久  
(コード番号：8795 東証プライム)

### 海外関連会社における評価性損失等の計上に関するお知らせ

T & D保険グループの株式会社T & Dホールディングス(社長 上原 弘久、以下「当社」)は、2023年3月期第2四半期連結会計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)において、下記のとおり海外関連会社における評価性損失等を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 海外関連会社における評価性損失等の内容

当社持分法適用関連会社であるFGH Parent, L.P.(以下「フォーティテュード社」)の第2四半期会計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)において、主に米国金利上昇等に伴い会計上の一時的な評価性損失等を計上する見込みとなりました。当社の第2四半期連結会計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)において、この評価性損失等1,060億円を含め同社にかかる持分法による投資損失として1,000億円程度を計上する見込みとなります\*。

なお、当社グループではグループの経営実態を表す指標の一つとして、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を一部調整した「グループ修正利益」を導入しております。

フォーティテュード社にかかるグループ修正利益相当額として、当社の第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)において180億円程度の利益を計上する見込みであり、同社にかかる当初想定に対し概ね順調な進捗となっております。

\*フォーティテュード社の決算日は12月末であり、同社の第2四半期会計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)の損益は、当社第2四半期連結会計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)に反映されます。なお、2022年5月13日付ニュースリリース「米国関連会社における評価性損失の計上に関するお知らせ」で公表しました第1四半期に発生したフォーティテュード社にかかる持分法による投資損失について、急激な円安による為替換算により110億円程度損失額が拡大する見込みとなります。

#### 2. 2023年3月期業績予想への影響

フォーティテュード社における評価性損失等の要因は、主に米国金利の変動により生じたものであり、今後も大きく変動する可能性があるため、現時点においては、2022年5月13日付ニュースリリース「2022年3月期決算のお知らせ」で公表しました業績予想に修正はありません。

以 上

#### 【お問合せ先】

株式会社T & Dホールディングス 広報課 加藤・山本  
(TEL : 03-3272-6115 / メールアドレス : [tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp](mailto:tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp))